

木業通信

佐賀銀行主催「木材産業振興セミナー」レポート

2026年3月30日に佐賀銀行が主催する「木材産業振興セミナー」が佐賀市の佐賀銀行本店で開催されました。今回のセミナーでは、弊社代表取締役伊東がパネリストとして参加をいたしました。

セミナーは会場とオンラインの両方で開催され、134名の参加をいただく盛況なセミナーとなりました。今回のセミナーのテーマは「佐賀の森林資源を産業にする」であり、佐賀県の森林資源がどれほどの潜在力があり今後活用できるかといったテーマに対して、



佐賀県 鹿耳島・愛媛 岡山など遠方ではしか製造ができない。このような需要を確保する中で佐賀県は鳥栖など良い地理条件を持つているのに活用しきれてはいない。

この状況を踏まえて、佐賀の森林はどう活用していくのか、林業や流通は対応できるのかを話し合いました。



伊東からは、地域材の取組やCLTといったこれからの新しい木材利用に対し佐賀県は木材コンビナートを有するなど基礎的な条件が整っていること、の説明と森林所有者や林業家にしっかりと利益が安定して還元しなければ持続することができないといった現状と展望の説明を行いました。


山側としては佐藤木材の佐藤様より、森林所有者が山を売るときに昔は「売ってくれ」とお願いされて山を売っていた。これが今ではいくらでもないから買ってくれ」になってしまっていること。施策に関しても間伐は良、皆伐は悪いとの取組が残りつついて再造林などの取組がされたり理解されていない現状の説明がありました。

佐賀県は山を有効に活用し、非住宅といった新しい需要の分野で木の価値を高める取り組みが必要であることが再確認されました。

このようなセミナーを通して、様々な分野の企業が木材を有効に使えるよう気運が生まれていけば佐賀の林業はより発展していきます。

(経営管理部 Y課長)

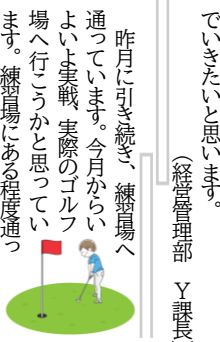
4月号
Vol.153
 毎月7日発行



発行所
 株式会社 伊万里木材市場木業会事務局
 〒八四九一四二五二
 佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇
 TEL 〇九五五一一〇二一八三 (代表)
 FAX 〇九五五一一八二八五五

地域の金融機関が率先して木に目を向けている今こそ種々の垣根を越えて森林の育成と木材の有効利用に取り組んでいきたいと思います。

(経営管理部 Y課長)



練習場にある程度通ったおかげで最近では空振りしにくくなってきました。ですが、ベテランの皆さんに聞くところからコースでは思ったよりも当たらないそうです。百聞は一見に如かずと申しますが練習場と異なりコースとなれば他のプレイヤーもおります。迷惑をかけられないプレッシャーをひしひしと感じます。失礼のないようにできる限り準備してやってみたいと思います。

そうですね。そういう場合は、ゴルフで両手グロブはやってよいのでしようか？まだ、初心者が力が入っているのか右手にメメができます。カミが抜けて皮が剥けなくなるまでは着けていたのですがどのようなものなのでしょう？

これからも練習を続けていきます！

(経営管理部 Y課長)

(経営管理部 Y課長)



4月に入り、毎日のように桜の満開予想が発表されています。桜は見頃の期間が短く、気づいた時にはピークを過ぎていることも少なくありません。

新年度がスタートし、異動や新入社員の入社など、職場の環境にもさまざまな変化があり慌ただしい日々の中と思いますが、通勤の途中やちょっとした

移動の合間にふと足を止め、桜を眺めてみるのも良い息抜きになるのではないのでしょうか。

(大分営業所 1所長代理)

【大分営業所 3月当市場相場】 ※市売結果

【松丸太】			
種別		m/価格	前月比
松	4m 12cm ~ 13cm 直・小曲	16,600円~15,100円	-
	4m 14cm 直・小曲	18,700円~17,500円	-500円
	4m 16cm ~ 18cm 直・小曲	18,000円~17,000円	-1,000円
	4m 20cm ~ 22cm 直・小曲	18,000円~17,000円	-1,000円
	4m 24cm ~ 28cm 直・小曲	18,230円~17,000円	-1,000円
【杉丸太】			
種別		m/価格	前月比
杉	4m 14cm ~ 16cm 直	15,500円	-
	4m 18cm ~ 22cm 直	15,000円	-
	4m 18cm ~ 22cm 小曲	13,000円	-
	4m 24cm ~ 28cm 直	15,000円	-
	4m 24cm ~ 28cm 小曲	13,000円	-
	元木4m 30cm上	13,000円~15,000円	

中国では約30万平方キロメートルに及ぶ広域で植林が進められ、その結果1949年に約10%だった森林被覆率は2024年には約25%にまで拡大している。

しかし、超大規模な植林(1980年代から推計780億本)によって、国内の水資源に予期せぬ影響が現れているらしい。

中国やオランダの大学が2001~2020年にかけての観測データを分析した結果

が植生の増加に伴い中国東部のモンソン地域と北西部の乾燥地域の双方で水資源が減少していることが明らかになった。われわれからしたら「植林」環境に寄与していると思われがちではあるが国や規模によって自然への影響が違ふ事が分かった。

この影響は中国全土の約74%に及んでおり局地的な問題では無く1999年の「退耕還林や」自然森林保護プログラムなどの一連の植林政策によって水資源の蒸発散量が大幅に増大したとの事である。蒸発散とは地表からの蒸発と植物が気孔を通して水蒸気を放出する蒸散を合わせた概念であり、森林が拡大するとより多くの水が大気中に移動する事になるらしい。植林の進行により降水パターンが変化し、大気中の水分はチベット高原へ運ばれ水利可能量が増加したが中国東部や北西部では水資源が顕著に減少した。

急速に進む人間活動による土地の利用と地表を覆う森林・草地・土壌・水域などの状況の変化の分析からは、草地から森林耕作地から草地といった転換が水循環に複雑な影響を及ぼしてことが示された。例えば、草地が森林に変わると降水量が増えるが蒸発散量の増加によって結果的に人間が利用できる水は減少してしまうらしい。

さらに問題を深刻化させているのは、中国における水資源の地理的偏在であり、北部には人口の約46%と耕作可能地の半分以上が集中しているが、水



中国の植林事情について

中国はものづくり大国である。世界最大のダム、高速鉄道網、風力発電、太陽光発電施設を有している。中国は「つくる」だけでなく「育る」ことにも国家規模で取り組んできた。1978年土壌侵食と砂漠化の進行を食い止める目的で「北防護林プログラム」通称「グレートグリーンウォール」計画を始動し、壮大な植林計画を2024年に完成させたと言われている。

資源は全体の約20%しか存在していない。われわれは持続可能な資源としての植林や自然環境へ配慮や強靱な国土再生として再造林を行っています。国によって過度なプロジェクトが反って環境を悪くする事もあると報告されています。

話は180.変わりますが、51才になりましたが、自衛官補の訓練(5+5110日間)を受け正式に予備自衛官になることが出来ました。初めは実弾射撃89式が出来るのと聞き、受験したのですが、実際は集団行動、協調性、精神学、国防とはうそを学び、自衛隊の存在の意義を改めて知ることが出来ました。今では同期の予備自衛官との絆も強く九州一円に散らばった仲間を訪問して酒を酌み交わすのが、登山に次ぐ、趣味となりました(笑)

(大分営業所 森林整備部 S係長)

ゴールデンウィーク期間中の休業日のお知らせ

GWの休業につきまして基本的には存じますが、下記の通り休業させていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8年4月29日(水)

令和8年5月 2日(土)~5月6日(水)

尚、休業期間中は全従業員、完全休暇となります。積込み・荷降ろしは一切、出来ませんのでよろしくお願いたします。

